

## 目次

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| P1. 第22回理事会を開催   | P5. 財団役員、評議員、選考委員 |
| P2. 2019年度助成対象一覧 | P6. KRFからのお知らせ    |

## 1 第22回理事会を開催

2019年12月12日（木）関電会館において、第22回理事会を開催し、次の議案を審議のうえ、以下のとおり決定しました。

### 試験研究助成の助成対象を決定

2019年度試験研究助成には、大学、高等専門学校、計16校から48件の応募を頂戴しました。選考委員会における選考を経て、理事会での審議の結果、2019年度の助成対象として、19件、助成金総額17,720千円を決定しました。

エネルギー・リサイクル分野は、太陽電池および二次電池の材料開発、光・振動・熱等のエネルギー変換・貯蔵技術開発、ナノテクノロジーによる新規材料開発等、15件（14,390千円）です。

総合防災科学分野は、盛土の災害時安全性評価、水道・ガス・電力等の埋設管接合部の地震発生時の安全性評価、被災者支援ボランティア組織の実態調査等、4件（3,330千円）です。

2019年度の助成事業としては、既に助成を決定している国際交流活動助成他を合わせ、助成件数38件、助成金総額22,220千円となります（応募総数は76件）。財団設立以降28年間の助成金総額は、約9億7,400万円となります。

今回決定した試験研究助成対象の19件の皆さまに対し、2020年3月18日（水）に第28回助成金贈呈式を開催いたします。

### 2020年度助成事業計画を決定

2020年度助成事業募集では、応募資格に年齢制限を設けません。ただし、若手研究者（概ね40歳以下）および研究歴の短い研究者（概ね研究歴10年未満）を主要助成対象として実施します。

2020年度の助成規模は、助成件数 42件、助成金総額 20,000千円です。

申込は、電子申請システムをご利用ください（併せて紙ベースでの応募も受け付けます）。

詳しい助成内容、応募要領等は、財団ホームページ（<https://www.krf.or.jp/>）をご覧ください。ご質問は事務局までご請求ください。

### 次期選考委員を決定

選考委員の任期が、2019年12月31日で満了となるのに伴い、次期選考委員7名を決定しました。詳細は、5ページをご覧ください。任期は2021年12月31日までの2年間です。

## 2 2019年度助成対象一覧

2019年度の助成総計は、38件、22,220千円です。

### 1. エネルギー・リサイクル分野（29件：17,790千円）

#### (1) 試験研究助成（15件：14,390千円）

(単位：千円)

研究者	研究題目	助成額
朝倉 博行 京都大学国際融合教育研究推進センター 触媒・電池元素戦略研究拠点ユニット 特定講師	酸素還元・発生用電極触媒の活性種に関する研究	940
安藤 裕一郎 京都大学大学院工学研究科 電子工学専攻 特定准教授	熱エネルギーを再利用する スピントロニクスデバイスに関する基礎的研究	940
今村 健太郎 大阪大学産業科学研究所 産業科学AIセンター 助教	シリコンナノ構造のバンド構造解析と 太陽電池特性向上の効果	1,000
植木 祥高 大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 助教	高温液体金属流れの音響計測の高度化に関する 研究	930
小阪田 泰子 大阪大学高等共創研究院・ 産業科学研究所 准教授	高効率光エネルギー変換に向けた 完全平面状二次元有機材料の開発	940
角屋 智史 兵庫県立大学大学院物質理学研究科 物質科学専攻 助教	ベンゾチオフェン系分子性導体の熱電特性： カルコゲン元素に基づくフォノン効果の検証	1,000
木梨 憲司 京都工芸繊維大学 材料化学系 准教授	熱安定性ウェアラブル線量計の開発	940
寺本 高啓 大阪大学放射線科学基盤機構 特任研究員	高効率太陽電池開発のための超短パルスレーザー 過渡光電流分光計測システムの開発	940
野木 馨介 京都大学大学院理学系研究科 化学専攻 助教	高効率両極電解法を駆使したアルキンの 二重官能基化	940
服部 梓 大阪大学産業科学研究所 3次元ナノ構造科学研究分野 准教授	ニッケル酸化物ナノ細線トランジスタでの 急峻オン・オフ特性の実現	1,000
林 宏暢 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 助教	高効率光エネルギー変換を示す窒素含有 カーボンナノチューブのボトムアップ合成	940
藤枝 俊 大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 准教授	逆磁歪効果を利用した振動発電 エナジーハーベスティングの高性能化	1,000

研究者	研究題目	助成額
森本 勝大 富山大学大学院理工学研究部 (工学) 電気電子システム専攻 助教	強誘電体を利用した電極仕事関数制御と 低電圧駆動有機ELの創出	940
山田 晋也 大阪大学大学院基礎工学研究科 附属スピントロニクス学術連携 研究教育センター 助教	高熱電性能Fe系ホイスラー合金薄膜の実証と IoT用薄膜熱電変換素子への応用	940
山本 宗昭 大阪市立大学複合先端研究機構 特任助教	光触媒を用いた水蒸気中光還元によるCO2再資源化	1,000

## (2) 第2回国際交流活動 [研究者海外渡航] の助成 (4件: 800千円)

(単位: 千円)

研究者	渡航目的	渡航先	助成額
奥野 亮太 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域 博士後期課程	米国電気化学会に参加し硫化物系 全固体リチウムイオン電池に関する 研究成果を発表する	モントリオール (カナダ)	200
田原 大祐 京都工芸繊維大学工芸科学研究科 電子システム工学専攻 博士後期課程	国際会議MRS (Materials Research Society) 2019に参加し、研究成果発表 および研究動向調査を行う	ボストン (アメリカ)	200
寺島 修 富山県立大学工学部 機械システム工学科 講師	アメリカ機械学会年次大会にて機械 振動低減デバイスの研究開発成果の 発表を行う	ソルトレイク シティ (アメリカ)	200
李 垂範 京都大学大学院工学研究科 電子工学専攻 博士後期課程	2019年度Magnetism and Magnetic Material (MMM) 学会における研究 成果発表および情報収集	ラスベガス (アメリカ)	200

## (3) 第2回研究発表会等の開催助成 (3件: 800千円)

(単位: 千円)

研究者	会議名称	助成額
竹田 敏 大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 助教	RPHA19 (Reactor Physics Asia 2019/ アジア炉物理国際会議2019)	400
名村 今日子 京都大学大学院工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻 助教	マイクロ・ナノスケールデバイスにおける 光および電氣的流体駆動に関する国際会議	200
西村 文武 京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 准教授	第4回国際アナモックスシンポジウム2019 (4th International Anammox Symposium IANAS2019)	200

※第1回国際交流活動等の助成対象 (7件、1,800千円) は、KRFレポートNo.32 (2019年4月) 掲載のとおり。

## 2. 総合防災科学分野（9件：4,430千円）

### （1）試験研究助成（4件：3,330千円）

（単位：千円）

研究者	研究題目	助成額
鎌田 泰子 神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻 准教授	液状化時に取り合い部の管路に作用する外力の 振動実験評価	940
後藤 浩之 京都大学防災研究所地震災害研究部門 耐震基礎研究分野 准教授	盛土構造物に発生する開口クラックの生成過程に 関する実証的研究	1,000
紅谷 昇平 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 減災復興政策専攻 准教授	業務商業地の地区防災活動における 産官民連携手法の開発	480
宮前 良平 大阪大学大学院人間科学研究科 共生学系 助教	「インフラ」としてのボランティアに関する 組織論的調査	910

### （2）第2回国際交流活動〔研究者海外渡航〕の助成（1件：200千円）

（単位：千円）

研究者	渡航目的	渡航先	助成額
寶田 玲子 大阪大学大学院人間科学研究科 共生行動論研究分野 博士後期課程	総合防災に関する国際学会IDRiM (Integrated Disaster Risk Management) 2019で研究成果発表を行う	ニース (フランス)	200

### （3）第2回研究発表会等の開催助成（1件：400千円）

（単位：千円）

研究者	会議名称	助成額
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科 共生行動論研究分野 教授	阪神・淡路大震災25年日中共創シンポジウム ～日中比較からみえてくる災害ボランティアの 意義と課題～	400

※第1回国際交流活動等の助成対象（3件、500千円）は、KRFレポートNo.32（2019年4月）掲載のとおり。

## □過去の助成実績

年度	試験研究助成		国際交流活動助成		研究成果の出版助成		研究発表会等の開催助成	
	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野	エネルギー・ リサイクル分野	総合防災 科学分野
1992年度～ 2009年度	283	103	253	22	38	1	112	15
2010年度	21	4	14	2	1	0	5	1
2011年度	20	4	9	2	1	0	10	2
2012年度	20	4	10	1	0	0	4	1
2013年度	18	3	4	1	0	0	3	1
2014年度	18	3	7	0	休止	休止	休止	休止
2015年度	21	4	17	2	休止	休止	休止	休止
2016年度	18	4	11	0	1	0	6	1
2017年度	18	2	5	0	1	0	2	0
2018年度	16	1	11	2	1	0	7	0
2019年度	15	4	9	3	0	1	5	1
合計	468件	136件	350件	35件	43件	2件	154件	22件

※総合防災科学分野は、1995年度から助成開始

### 3 財団役員、評議員、選考委員 (2020年1月1日現在)

#### ■代表理事

森 詳介 関西電力株式会社 相談役

#### ■業務執行理事

枚田 哲郎 当財団 事務局長 ※

#### ■理事

大澤 靖治 京都大学 名誉教授

佐和 隆光 京都大学 名誉教授

辻 毅一郎 大阪大学 名誉教授

西内 誠 一般財団法人大阪科学技術センター 専務理事

西村 昭 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 監事

#### ■監事

川下 清 弁護士

中西 清 公認会計士

#### ■顧問

小林庄一郎 当財団元理事長

石川 博志 当財団前代表理事

#### ■評議員

池島 賢治 大阪ガス株式会社 顧問

近藤 泰正 株式会社竹中工務店 常務執行役員

島本 恭次 関西電力株式会社 取締役常務執行役員

田中 健一 三菱電機株式会社 開発本部技術統轄

西 亨 株式会社阪南コーポレーション 副社長

西田 篤史 関西電力株式会社 研究開発室長

鱧谷 貴 公益財団法人大阪コミュニティ財団 専務理事

#### ■選考委員

##### 【エネルギー・リサイクル分野】

北村 新三 神戸大学 名誉教授 (委員長)

久保 司郎 大阪大学 名誉教授

辰巳砂 昌弘 大阪府立大学 学長

馬場 章夫 大阪大学 名誉教授

八尾 健 京都大学 名誉教授

吉川 潔 京都大学 名誉教授

##### 【総合防災科学分野】

北村 新三 神戸大学 名誉教授 (委員長)

河田 恵昭 京都大学 名誉教授

(敬称略、※は常勤者)



## KRFからのお知らせ

### 2020年度 助成事業の概要

主として関西地域におけるエネルギー・リサイクル分野および総合防災科学分野に関する試験研究等に対する助成を行っています。

2020年度の助成事業募集内容（1月6日募集開始）は下表の通りです。

助成規模は、助成件数 42件、総額 20,000千円となっております。

当財団では、応募資格に年齢制限はありません [ただし、若手研究者（概ね40歳以下）および研究歴の短い研究者（概ね研究歴10年未満）を主要助成対象とします]。

皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。

#### ■ 助成種類毎の助成件数

助成種類	試験研究助成	国際交流活動助成		研究成果の出版助成	研究発表会等の開催助成	
		研究者 海外渡航	海外研究者 招聘			
一件あたりの助成額	100万円以下	20万円以下	50万円以下	10万円以下	40万円以下	
助成件数	エネルギー・リサイクル分野	11件	10件	1件	7件	3件
	総合防災科学分野	3件	2件	1件	3件	1件
申込締切日	2020年8月31日(月)	第1回：2020年2月28日(金) 第2回：2020年7月29日(水)		第1回：2020年2月28日(金) 第2回：2020年5月29日(金) 第3回：2020年7月29日(水)	第1回：2020年2月28日(金) 第2回：2020年7月29日(水)	

詳細はホームページをご覧ください。 <https://www.krf.or.jp/>

#### ■ 申込方法

ホームページより、研究者登録のうえ応募書類をダウンロードし電子申請にてお申し込みください。書面によるお申込をご希望の方は、申込書に必要事項を記入の上、1部を財団事務局まで、締切日必着にてご送付願います。

#### ■ 応募要領、申込用紙（書面によるお申込をご希望の方）のご請求は事務局まで

インターネットからも請求可

<https://www.krf.or.jp/application>

E-メールアドレス

[info@krf.or.jp](mailto:info@krf.or.jp)

TEL 06-7506-9068 FAX 06-7506-9069 担当：桑田 (kuwada@krf.or.jp)

#### ■ 事務局より

おかげさまで2019年度も皆さまから多くのご応募を頂き、助成活動を実施することができました。心より御礼申し上げます。2020年度も、研究者の皆さまのニーズに応えらるとともに、お役に立てる助成活動となるよう努めてまいります。皆さまからの多数のご応募をお待ちしております。また、ご不明な点等ございましたら、ぜひお気軽にご連絡いただきますようお願い致します。